

2025 年 11 月 9 日		(朝 10:30-11:30)
聖 日 礼 拝		司会 城尾マコト
前 奏	全員黙祷 「新聖歌 23 番」	
招 詞	ヨハネ 7 章 37～38 節(新 149 頁)	司会者
頌 栄	「新聖歌 60 番」	
主の祈り		全 員
使徒信条		全 員
交読文	新改訳 38 番 詩篇 121 篇 910 頁	司会者・全 員
聖 書	出エジプト 20 章 15 節(旧 102 頁)	司会者
讃美歌	♪新聖歌 211 天なる喜び	
祈 祷	司会者による祈り	
	♪子供達の祝福の為に賛美 484 番	
讃美歌	♪新聖歌 233 驚くばかりの	
メッセージ	「キリスト・イエスにあって満たされる」	城尾淳一
讃美歌	♪新聖歌 248 人生の海の嵐に	
	証とお知らせの時間	
献 金	新聖歌 55 番	
頌 栄	新聖歌 63 番	
祝 祷		城尾マコト牧師
後 奏	全員黙祷 新聖歌 59 番	
  		Youtube Facebook HomePage

出エジプト記 20 章「キリスト・イエスにあって満たされる」

あなたは盗んではならない

十戒の第八戒「ロー・ティグノーヴ(לֹא תִגְנוֹב)」は、ヘブライ語でわずか 2 語の簡潔な命令です。しかし、ヘブライ語「ガーナヴ(גָּנַב)」は、単に物を盗むだけでなく、人を盗むこと(誘拐)、権利や名誉を奪うこと、時間を奪うことなど、非常に広い意味を持っています。公然とした略奪「ガーザル(גָּזַל)」とは区別され、「こっそりと、欺いて、不正に奪う」という狡猾な罪を禁じています。

罪の段階的な進行

ヤコブの手紙では「欲望がはらんで罪を生み、罪が熟して死を生み出す」と教えられています。十戒はこの原理を先取りしていました。第十戒は心の中の貪欲を禁じ、第九戒は言葉による偽証を禁じ、第八戒は実際の盗みという行為を禁じています。罪は心から始まり、言葉を経て、行為に至るのです。この三つの戒めは「心(Model)→言葉(View)→行為(Controller)」という、神様による霊的な MVC 設計とも言えます。

古代イスラエル社会における盗み

古代イスラエルでは、家畜と土地が生存に直結する財産でした。一頭の羊を失うことは家族の食料と衣服の喪失を意味し、土地を奪われることは代々受け継がれた相続地を失うことを意味しました。盗みは共同体全体の信頼関係を破壊する重大な罪だったのです。

なぜ様神はこれを十戒の一つとされたのか

神様は奪う方ではなく、惜しみなく与える方です。詩編 24 編 1 節「地と、それに満ちるもの、世界と、そのなかに住む者とは主のものである」すべては神様のものであり、私たちはそれを委ねられているのです。ピリピ 4 章 19 節「わたしの神は、ご自身の栄光の富の中から、あなたがたのいっさいの必要を、キリスト・イエスにあって満たして下さる」盗む必要はありません。神様が必要を満たしてく下さるからです。

満たしてく下さる神様

あなたは今、何に渴いていますか？物質の渴き(手の中に何もなく、明日の糧を求める渴き)、心の渴き(物はあるても、愛や承認を求める渴き)、良心の渴き(善悪の感覚さえ枯れてしまった状態)。これらの渴きを放置すれば、やがて誘惑となり、盗みという罪へと私たちを導きます。しかしイエス様は言われました。「だれでもかわく者は、わたしのところにきて飲むがよい」(ヨハネ 7:37)心が渇くとき、神様に願ってください。「神様、どうか私たちの必要を満たしてください」と。神様は求める者を決して見捨てられません。祈りの中で、私たち自身が変えられていくのです。

城尾淳一